

地球の未来を守るために

SDGsを知って行動しよう

私たちの共通の未来

元近畿大学

青山 政利

SDGとは

- Sustainable Development Goals
- 持続可能な 開発 目標
永続可能な 成長
発展
- 2030年までに達成を目標にしている
国連の取り組み

SDGsが提起されるまでの歴史は 急激な経済成長

- 高度経済成長 1955年～1973年
年率10%を越える経済成長
世界的経済成長
- 負の結果として各地の公害問題
沈黙の春 レイチェル・カーソン
化学物質汚染
大気汚染・水質汚染等
生活に直結した、地域の環境破壊
煙の都 大阪
四大公害裁判・西淀公害

革新自治体の誕生

- 蜷川京都府政 1950－1978
- 美濃部都政 1967－1979
- 黒田大阪府政 1971－1979
- 飛鳥田横浜市政 1963－1978
- 屋良沖縄県政 1968－1976

- 等々

成長の限界 1972年

急激な経済成長の結果

資源の枯渇

人口の急増

人口は幾何級数的に増加するが

食糧は算術級数的に増加

地球の有限性

「発展途上国の成長に疑問を投げかけ」

オイルショック

- 高度経済成長を支えた安価な石油
 - 1バレル2ドル
 - ガソリン1リットル40円から45円 1ドル=360円
- 1973年
 - 石油は、あと30年しか持たない
 - 1バレル 12ドルへ
- 1979年
 - 1バレル 40ドル
 - 2008年最高値 147ドル

Sustainable Development

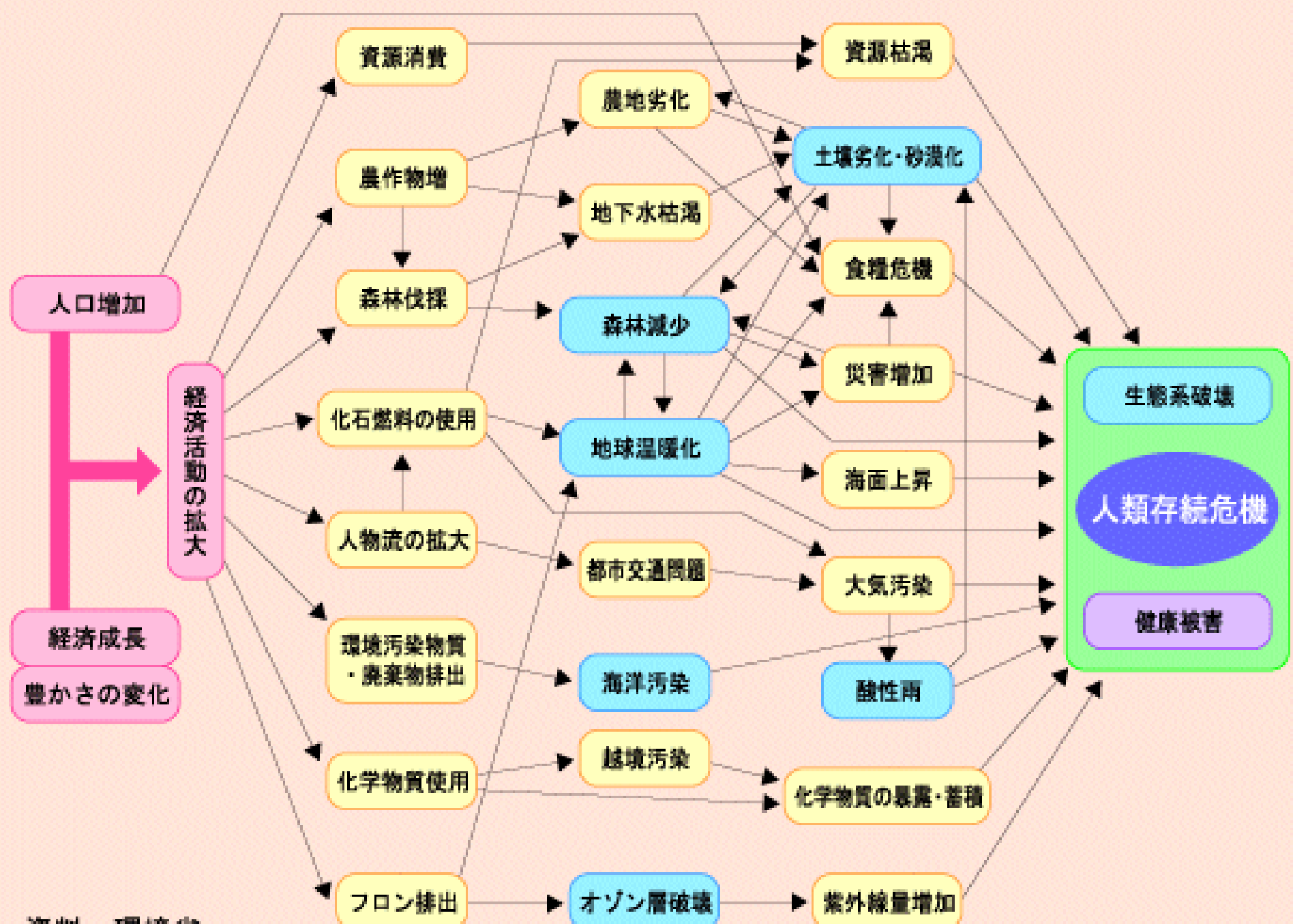
- 1980年頃言葉が使われ始める
- 1987年 Our Common Future
ブルントラント委員会 国連の諮問への報告
SDの概念
現在および将来の人間の欲求と願望を満たす能力を高める
ように変化していく過程

リオ・サミット

- 1992年
- 世界各国の「リーダー」が出席しての地球サミット
日本の宮沢首相はビデオ参加
- 環境問題だけでなく世界のあらゆる課題について議論
- アジェンダ21 21世紀への行動計画を採択
持続可能な開発を実現するために実行すべき行動計画
貧困の撲滅
気候変動
生物多様性
有害廃棄物・放射性廃棄物
等々

人類生存の危機

- 急性の危機
 - 核兵器の存在 オーバー・キル状態
 - 紛争の解決手段として戦争という物が存在している
 - ...
- 慢性の危機
 - 資源の枯渇
 - 食糧危機
 - 環境の危機
 - 気候変動
 - オゾン層
 - 森林破壊
 - 砂漠化
 - ...



資料：環境省

MDGs ミレニアム開発目標

- 2000年9月にニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットで採択された国連ミレニアム宣言を基にまとめられた、2015年までに達成すべき8つの目標
- **MDGsの成果例**
 - 「開発途上国で極度の貧困に暮らす(1日1ドル25セント未満で暮らす)人々の割合」⇒1990年の47%から14%に減少
 - 「初等教育就学率」⇒2000年の83%から91%に改善
 - 「インターネットの普及率」⇒2000年に世界人口の6%から43%まで増加
 - 「HIVへの新たな感染者」⇒2000年から2013年の間で約40%低下



目標1:極度の貧困と飢餓の撲滅

- ・1日1.25ドル未満で生活する人口の割合を半減させる
- ・飢餓に苦しむ人口の割合を半減させる



目標5:妊産婦の健康の改善

- ・妊産婦の死亡率を4分の1に削減する



目標2:初等教育の完全普及の達成

- ・すべての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする



目標6:HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止

- ・HIV/エイズの蔓延を阻止し、その後減少させる



目標3:ジェンダー平等推進と女性の地位向上

- ・すべての教育レベルにおける男女格差を解消する



目標7:環境の持続可能性確保

- ・安全な飲料水と衛生施設を利用できない人口の割合を半減させる



目標4:乳幼児死亡率の削減

- ・5歳未満児の死亡率を3分の1に削減する



目標8:開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

- ・民間部門と協力し、情報・通信分野の新技术による利益が得られるようにする

*ロゴは「特定非営利活動法人 ほっとけない 世界のまずしさ」が作成したもの。

SDGs

持続可能な開発目標

17の目標と169のターゲット (別添資料参照)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

(外務省)

1. 貧困をなくす
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさも守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナーシップで目標を達成しよう

目標1から6「社会」	貧困・飢餓・健康福祉・教育。ジェンダー・水・エネルギーなど人間が人間らしく生きていくための社会に関する目標
目標7から12「経済」	雇用・格差・経済成長・生活インフラなど、最低限の暮らしの保証からより良い暮らしに関する目標
目標13から15「環境」	気候変動問題・海と陸の資源に対して、人間だけでなく動植物が暮らす自然の持続可能性に関する目標
目標16から17「枠組み」	SDGsの目標を達成するために3分野すべてに関する暴力の撲滅・ガバナンス強化・投資促進・パートナーシップに関する目標

日本政府の取り組み

- **SDGs実施指針8つの優先課題**
- あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現
- 健康・長寿の達成
- 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
- 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
- 省・再生可能エネルギー、防災、気候変動対策、循環型社会
- 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
- 平和と安全・安心社会の実現
- SDGs実施推進の体制と手段

日本政府のSDGs中長期国家戦略

～ 課題解決先進国として、SDGsの実施に向けた世界の模範国に ～



ターゲットの中にはすでに達成している目標もある。では日本政府として取り組む方針を決めよう！

として策定されたのが **SDGs実施指針** である

SDGs実施指針には特に取り組むべき8つの優先課題が掲げられている

8つの優先課題

People

あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現

健康・長寿の達成

Prosperity

成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション

持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備

Planet

省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会

生物多様性、森林、海洋等の環境の保全

Peace

平和と安全・安心社会の実現

Partnership

SDGs 実施推進の体制と手段

※ **SDGs** は「SDGs実施指針改定版」で追加された文言

国際社会への展開

京都コンGRESS, 2020年東京五輪
アジア・太平洋水サミット, 東京栄養サミット

SDGsモデルを
世界に発信

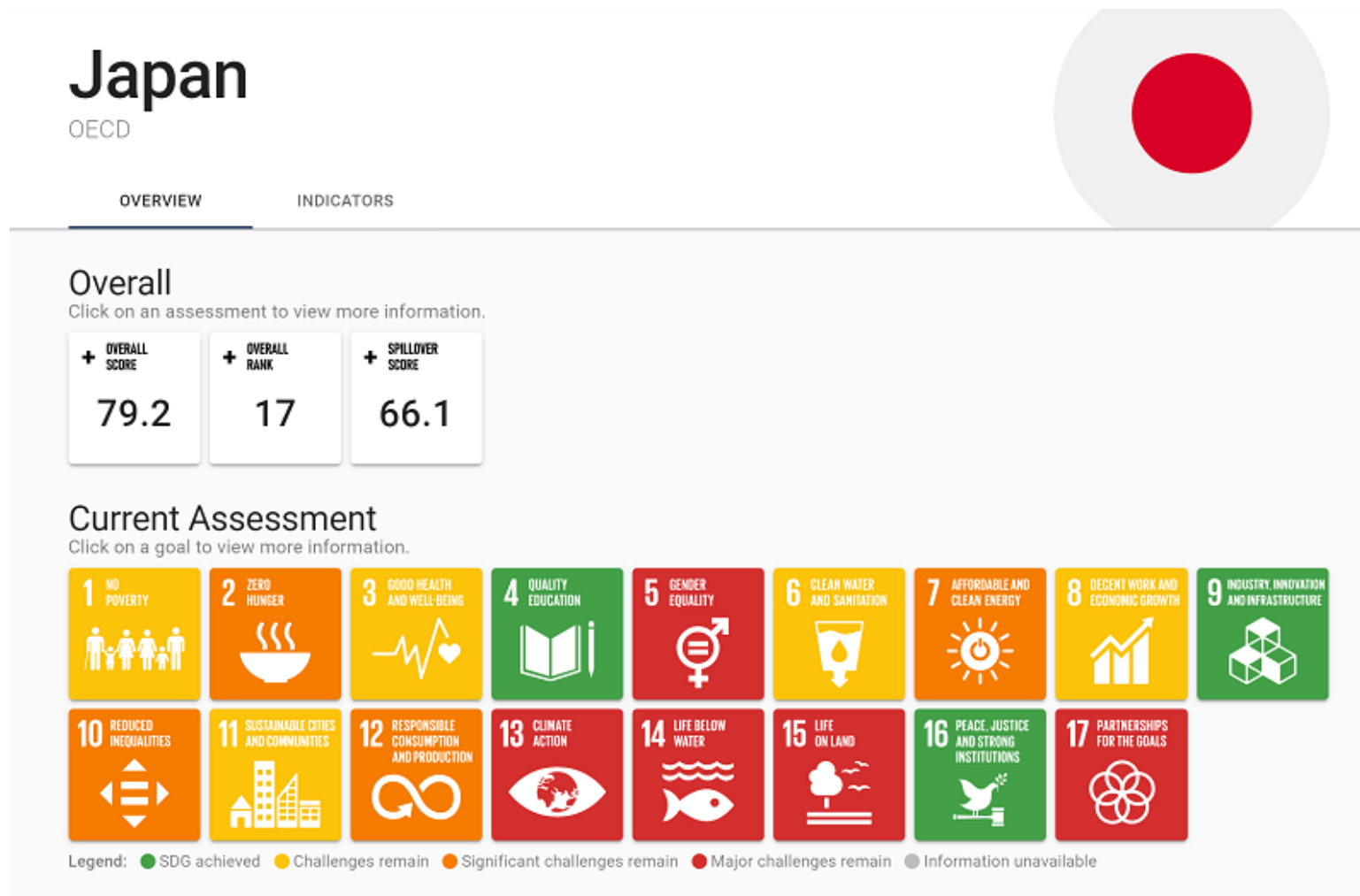


日本ならではの「SDGsモデル」構築を目指し、8つの優先課題に対して推進される具体的施策に取り組んでいく。

『SDGsアクションプラン2020』に
具体的施策がまとめられている。
詳細はSDGsアクションプラン2020の3P～33Pを参照

日本の到達度

持続可能な開発ソリューション・ネットワーク(SDSN)



赤 「最大の課題」
オレンジ 「重要課題」
黄色 「課題が残っている」
緑 「達成できている」

大阪府の取り組み

- 2025年に開催される大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」は、**SDGsが達成された社会**をめざすもの。大阪では、**万博を「SDGs社会を具現化し世界とともに未来をつくる」絶好の機会として本ビジョンを推進**。2025年に向け、SDGs先進都市としての**基盤を整えながら、万博のレガシーとして「SDGs先進都市」を実現**。2030年のSDGsの達成に貢献していく。

Osaka SDGsビジョンより

(1) SDGsの推進に向けた基本的な考え方

- SDGsの推進は、府や市町村、府民、企業など、あらゆるステークホルダーが自律的に取り組むことに大きな意味がある。
- 一人ひとりが「誰一人取り残さない」、「大胆に変革する」という国際合意の視点を重視し、常に野心的な目標を掲げながら、17のSDGsを意識し、考え、行動しなければならない。大阪では、こうした考えのもとに、みんなと一緒に「SDGs先進都市」の実現をめざしていく。

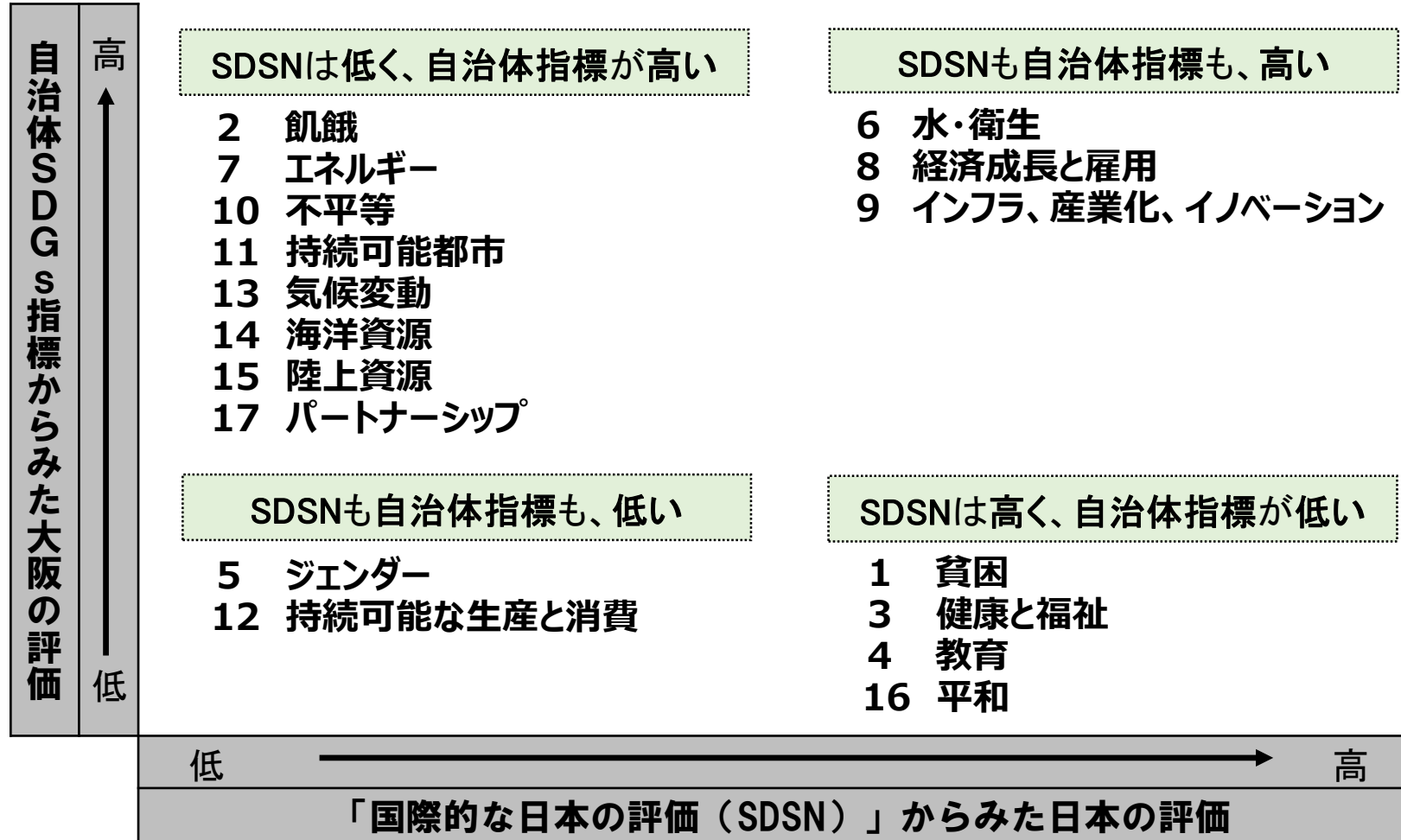
【取組みの視点】

- ① より生き生きとした生活をめざし、強みを伸ばしていく
- ② “いのち”や暮らしの基盤を確立するため、弱みを克服していく
- ③ 大阪の強みや歴史、文化などを活かして取り組み、世界をリードしていく
- ④ 次の世代によりよい大阪を引き継ぐため、社会システムや価値観の大きな変革を図っていく

(2) SDGs17ゴールの現在の到達点の分析 【① 個別ゴールの4分類整理】

視点1

- 公表されている「国際的な日本の評価（SDSN）」と「国内評価（自治体SDGs指標）」を一つの拠り所に、SDGs17ゴールの現在の到達点を4つに分類して分析。



大阪市におけるSDGsの推進について

- SDGsは世界レベルでの幅広い課題の解決に向けた取り組みで地方自治体には関係ないと思われがちですが、実は、現在大阪市が進めているさまざまな取り組みとも密接な関わりがあります。例えば、
 - 子育て・教育環境の充実
 - 真に支援が必要な方への支援
 - 若者・女性の活躍促進
 - 大阪経済の活性化
 - 防災力の強化
 - ごみの減量・リサイクルの推進
 - 気候変動対策 など
- SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」という理念と「大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる方向性が一致していることから、本市におけるSDGsの推進にあたっては、総合戦略と一体的に推進しています。

◆大阪市が現在推進している主な取組みと関連するSDGs



企業の取り組み I

- 大同工業所：東南アジアを中心に血液保管システムの確立をめざす

業務用冷蔵庫で培った技術を活かして、血液の保管と輸送システムを手掛けています。血小板保管庫*の医療機器承認を持つ日本国内メーカーで、技術力には自信があります。JICA事業を通じて、ミャンマーのヤンゴン国立血液センターから2つの病院に血液製剤を保管輸送するシステムを構築し、2018年11月から稼働させています。

- 棚橋電機：インドネシアの河川の水質汚染進行に歯止めをかける

河川の汚染が深刻なインドネシアにおいて、一定期間メンテフリーで、重度汚染や高濁度の環境下でも水質の測定ができる機構を新たに開発しました。センサーを洗浄する仕組みを開発した*のがミソで、開発協力会社や現地政府系研究機関等との間で日本とインドネシアの特許を共同出願すべく準備しています。

企業の取り組み II

- Dari K: カカオを通してインドネシアの所得向上や雇用機会創出に貢献

カカオ豆の栽培からチョコレートの製造・販売までを一貫して行っています。カカオの産地インドネシアで栽培技術を指導し、品質向上や収穫量増加を通じて現地の所得向上を支援しているほか、6次産業化の推進によって雇用機会の創出にも貢献しています。

これまで廃棄されていたカカオの殻をバイオマスとして利用し、クリーンで効率的なエネルギーの実現にも挑戦しています。

- POLY-GLU SOCIAL BUSINESS株式会社: 安価で安全な飲料水を、開発途上国へ

納豆のネバネバ成分であるポリグルタミン酸を主原料にした水質浄化剤*を開発し、開発途上国などで安全な飲料水を安価に供給しています。浄化した水を運んで販売するのはポリグルボーイ、集金するのはポリグルレディとして、現地の人材を採用し、安くて安全な飲料水の供給と現地の雇用創出に貢献しています。

新型コロナウイルスに考えさせられたこと

- 保健・医療行政の課題
- 生産をしない社会の脆弱性
- グローバルな経済圏
- グローバルな分業体制の是非
- 都市の課題
- 都市への集中
- 必要な企業・不必要な企業
- 密型社会
- 等々

SDは可能か

- 持続可能な開発(成長)はあり得るのか

- 持続可能な社会

持続という言葉が嫌い(私は)

持続という言葉にいまの社会をそのまま継続させたいという

意思が感じられる

いまの社会のシステムを作り替えないと

生存の危機の克服は不可能

- 永続可能な社会づくり

SD社会に求められること

- 平和

憲法九条 国際紛争を解決する手段としての戦争は一切放棄
核兵器のみならずすべての兵器の破棄

- 人権

平和に生きる権利

いま生きている人たちの人権はもちろん

将来地球に生まれてくる人たちの人権も

- 環境

ローカルな環境からグローバルな環境まで

そして

- 民主主義

誰一人取り残さない社会

- 競争型社会か協同型社会か
 ナンバーワンよりオンリーワン
 過度な競争が様々な問題を生み出している
- 大量生産・大量消費の問題
 大量輸送・大量廃棄を伴って
 「消費は美德」という言葉も
- 都市への集中
 工業化と共に人口の都市集中が
 一極集中
 ローカルな経済圏の確立

みんなで生きる社会

- 企業の本来の役割は
- 資本のあり方
- 政治のあり方
- 私たちに何ができるか